

公安委員会の開催概要

公安委員会は、令和5年8月10日（木）に開催された。

1 決裁事項

- ・秋田県議会会期決定通知について
- ・ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく措置について
- ・審査請求手続について
- ・横断歩道標識について
- ・公安委員会による交通規制の意思決定について
- ・道路交通法の規定に基づく意見の聴取等について

2 報告事項

(1) 令和5年秋田竿燈まつり雑踏警備の実施結果について

県警察から、令和5年秋田竿燈まつり雑踏警備の実施結果に関する報告があった。8月3日からの4日間、4年ぶりに通常開催された秋田竿燈まつりの人出は約110万人と、昨年を大きく上回った。期間中、各日とも約220人の警察職員が雑踏警備等に従事し、酷暑の中、無事完遂した。

委員から、「猛暑の中、誰ひとり倒れることなく警備に従事している警察官はさすがだと感じた。」との発言があった。

(2) 第95回全国花火競技大会雑踏警備対策について

県警察から、第95回全国花火競技大会雑踏警備対策に関する報告があった

8月26日、大仙市大曲地内雄物川河畔において、第95回全国花火競技大会が開催される。県警察では、約450人体制で会場内外の各種事件事故の発生防止、会場を中心とした交通渋滞緩和措置の徹底及び交通事故の発生防止を目的として雑踏警備を実施する。

委員から、「露店周辺等でのスリの発生にも注意していただきたい。」との発言があった。

(3) 令和5年上半期のストーカー及び配偶者暴力事案の取扱状況について（暫定値）

県警察から、令和5年上半期のストーカー及び配偶者暴力事案の取扱状況に関する報告があった。

ストーカー事案の認知件数は51件で、前年同期比6件（10.5%）減少した。また、ストーカー事案における事件検挙は8件で、前年同期比1件（14.3%）増加した。

配偶者暴力事案の認知件数は139件で、前年同期比5件（3.5%）減少した。また、配偶者暴力事案における事件検挙は7件で、前年同期比2件（40.0%）増加した。

委員から、「核家族化等によりDVが表面化しにくい。巡回連絡でも近所で家庭内トラブルがないか、聞き取りをしていただきたい。」との発言があった。